

## 《結果の抜粋と掲載ページ》

■ 調査概要	2ページ
■ 水への関心	
◇ 水への高関心度層に若者多し…トピック【1】	
関心を醸成するのは、幼少期の水とのふれあいか？	3ページ
◇ 水を“大切だと思っている人”は9割超	4ページ
◇ 水への関心がなくてもありがたさを感じている人が多数	4ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki’s View～ ①水への関心	5ページ
■ 水と災害	
◇ 3人に1人以上が断水・濁水の経験あり。60代は4割超	7ページ
◇ 被災で水に困った経験がある人は、20代と大阪圏に多い	7ページ
◇ 水で困った・苦労したこと、災害による断水に関する項目で大阪圏の数値の高さ目立つ	
断水・濁水経験者は、災害・非災害を問わず数値が高い	7ページ
◇ 水のありがたさを感じるとき、水で困った経験が水への感謝につながる？	8ページ
◇ 水の災害に“不安を感じている人”が6割超	8ページ
◇ 不安な災害で「線状降水帯」が急上昇…トピック【2】	8ページ
◇ 災害時の水の備え、水の災害に“不安を感じている人”と“感じていない人”に明確な差	9ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki’s View～ ②災害	10ページ
■ 節水の意識と行動	
◇ 節水の意識と行動ともに40代が減少して20代・30代寄りの数値に	11ページ
◇ 節水を行う要因には罪悪感も関与？	11ページ
◇ 日常生活で実践していることは上位項目に変化なし	11ページ
■ 水道水に関する意識	
◇ 水道水の評価は、10点満点回答者が減少し平均点がやや低下	12ページ
◇ 水道水への不満は「不満なし」が5割に迫る勢い。「料金高い」は3割下回る	12ページ
■ 水と生活・文化	
◇ 3人に1人以上が水道料金は「妥当だと感じている」…トピック【3】	13ページ
◇ 値上げを最も許容できるのは「水道料金」…トピック【3】	13ページ
◇ 知っている祝日・記念日は「水の日」認知率6.0%で過去最高の更新ならず	14ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki’s View～ ③水道料金	14ページ

### 【調査概要】

#### 第29回（令和五年度）「水にかかわる生活意識調査」

- ◆ 調査対象数 : 1,500人
- ◆ 調査対象者 : 東京圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)、大阪圏(大阪、兵庫、京都)、中京圏(愛知、三重、岐阜)に居住する20代～60代の男女
- ◆ 調査方法 : インターネット調査
- ◆ 調査期間 : 2023年5月30日(火)～6月5日(月)
- ◆ 回収数(人) :

	東京圏		大阪圏		中京圏		合計		小計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
20代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
30代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
40代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
50代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
60代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
合計	250	250	250	250	250	250	750	750	1,500
	500		500		500				